

令和4年度 看護進路相談会 実施報告

公益社団法人 宮崎県看護協会

1. 目的

保健・医療・福祉の分野でますます看護の要請が高まっており、優秀な人材の確保が重要となっている。そこで、中・高校生および保護者、進路担当の先生を対象に、看護学校に関する情報を提供し、適切な進路選択の一助となることを目的とする。

2. 日時：令和4年6月12日（日）

3. 会場：宮崎市民プラザ（宮崎市）

4. 内容：看護の講演、県内の各看護学校別の説明・個別相談、5年一貫校資料提示

5. プログラム

第1部	第2部	内 容	
9:00~9:25	13:00~13:25	受付（宮崎市民プラザ 4階ギャラリー）	
9:20~	13:20~	オリエンテーション	宮崎県看護協会
9:25~	13:25~	開会・挨拶	宮崎県看護協会 会長
9:30~9:45	13:30~13:45	看護教育について	宮崎県福祉保健部 医療政策課 看護担当 主幹 鴫 香織 氏
9:45~9:55	13:45~13:55	看護学校自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ● 宮崎県立看護大学 ● 宮崎大学医学部看護学科 ● 国立病院機構都城医療センター附属看護学校 ● 藤元メディカルシステム付属医療専門学校 ● 日南看護専門学校 ● 宮崎医療福祉専門学校看護学科 ● 九州保健福祉大学総合医療専門学校看護学科 ● 小林看護医療専門学校 ● フィオーレKOGA看護専門学校 ● 医師会立看護学校
10:05~11:20	14:05~15:20	学校別説明 (15分×4回)	
11:25~12:00	15:25~16:00	個別相談	希望者のみ

6. 参加状況：参加生徒数 345人【第1部：168人、第2部：177人】 単位：人

	参加生徒の合計			保護者	教諭	参加者合計	学校数
	1年生	2年生	3年生				
中学校	1	1	19	21	32	53	18
高校	34	101	189	324	2	326	33
合計				345	32	379	51

※R3年：283人（うち、生徒258人）

7. 参加者アンケート結果

- 1) 対象：参加した中・高校生の 345 人
- 2) 回収状況：回収数 316 (回収率 91.6%)
- 3) 集計結果

(1) 回答者の内訳 単位：人

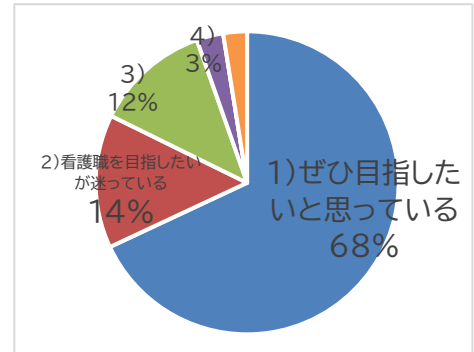
中学生	高校生
20	292

※その他 1, 無回答 3

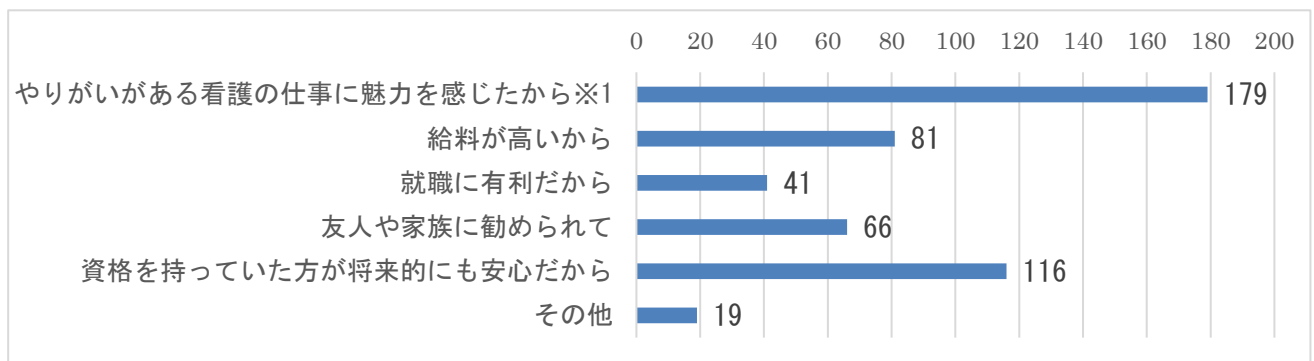
(2) 進路希望

①現在の希望進路について (n=316) 単位：人

	回答数
1) ぜひ目指したいと思っている	215
2) 看護職を目指したいが迷っている	45
3) 決まっていないが看護職に関心がある	39
4) 看護職以外の進路を目指している	9
5) まったく決まっていない	0
無回答	8



②看護職をめざす理由 * 複数回答 (①で1) 2) と回答した 260 人が対象) 単位：人



※1：「やりがいがある看護の仕事に魅力を感じたから」の理由についての自由記載

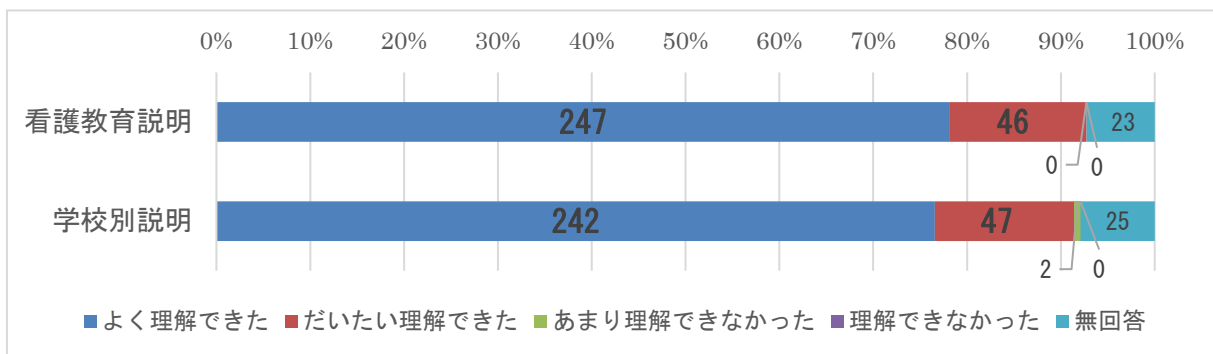
() は類似意見の数。類似意見の多い順に掲載

- ・ 患者さんを助け笑顔にできるから (37)
- ・ 人の役に立つ仕事だから (26)
- ・ 人の命や生活を守る素晴らしい仕事だと思ったから (18)
- ・ 家族が医療従事者。病院で働く姿がかっこよかった、話を聞いた (13)
- ・ (自分や家族が) 入院や通院で看護師にお世話になったから (11)
- ・ 患者さんを一番近くで支えるのが看護師で人を救う仕事だから (10)
- ・ 寄り添ってサポートできるから (10)
- ・ 感謝される仕事がしたいから・社会貢献していると思うから (6)
- ・ コロナ禍で感染者を支える医師や看護師に感激し自分も支えたいと思った (4)
- ・ 医療だけでなく心身のケアも大事だと気付いた (3)
- ・ 自分が頑張れると思ったから (2)
- ・ ドラマをきっかけに興味を持ち調べるうちに看護師の役割が重要だとわかったから (2)
- ・ 患者さんとコミュニケーションをとれるから
- ・ 小さいころから看護の仕事を目にする機会が多く憧れているから
- ・ ふれあい看護体験を通して看護に興味を持ったから
- ・ 人の健康に関する仕事なので責任が大きい分やりがいもありそうだから
- ・ かっこいいと思った

- ・色々な働き方が、自分の長所を生かせると思った
- ・患者さんの回復がわかるともっと頑張ろうと思えるから
- ・看護師さんの話を聞いて自分もそうなりたと思った
- ・大変でもいいこともあるから
- ・AIに置き換わることなく、なくてはならない仕事だから
- ・学校で救命のことを学んでもっと学びたいと思った
- ・親孝行したいから
- ・宮崎県の医療課題に貢献したいから
- ・誰にでもできない仕事だから
- ・命の誕生の瞬間に携わることができるから

(3) プログラムについての評価

プログラムの「看護教育説明」、「学校別説明」の2項目について4段階評価を行った。
n=316 (人)



(4) 看護進路説明会に対する感想※【 】は類似感想の数

良かった、参考になった

- 学校（志望校）の話を具体的に聞くことができよかつた。わかりやすかつた。比較することができた。学校選択の参考にした【166】
- オープンキャンパスに参加しにくくなつたので、学校のことを知れてよかつた【2】

気持ちの変化

- 看護職になりたい気持ちが強くなつた・看護職に興味があつた【36】

気づき

- 自分の知らなかつたことを聞けた。初めて知ることがあつた【19】
- 看護について知ることができた【14】
- 自分の将来（進路）を具体的にイメージできた。考えるきっかけになつた【8】
- 看護への道のりが1つではないことがわかつた

要望・感想

- よく聞こえなかつた【2】
- 学校がアットホームな感じで好印象だつた
- 来年も参加したい
- 似たような説明だつた
- 大学の事をもっと詳しく知りたい
- 看護は安定した給料で国家資格なので県外でも就職しやすくつていいなと思つた。
- 学校別説明会がよくわからなかつた

- 進学校に通っているので「大学が当たり前」の雰囲気。専門学校でも学べると聞いて安心した。

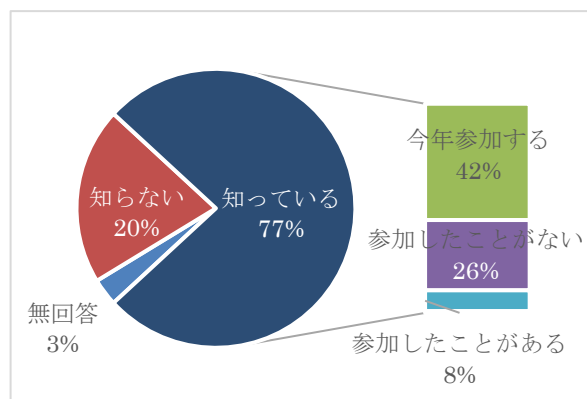
(5) ふれあい看護体験について

①ふれあい看護体験の認知度 n=316

ふれあい看護体験を知っている	241
ふれあい看護体験を知らない	65
無回答	10

②ふれあい看護体験の参加について n=241

参加したことがある	24
参加したことがない	81
今年参加する	134
無回答	2



8. まとめ

看護進路相談会は、平成6年にスタートし、今年で28年目を迎えた。

今年度は、昨年同様に宮崎市民プラザを会場とし、開会式と学校別説明会（10校）の会場を分けた。また、参加者の定員を設け2部入替制とし、新型コロナウイルス感染症対策を講じ開催した。

開催案内は、県内高校と市町村教育委員会を通して、県内の中学校に案内を行った。

結果、中学校18校、高校33校、より345名の参加があった。

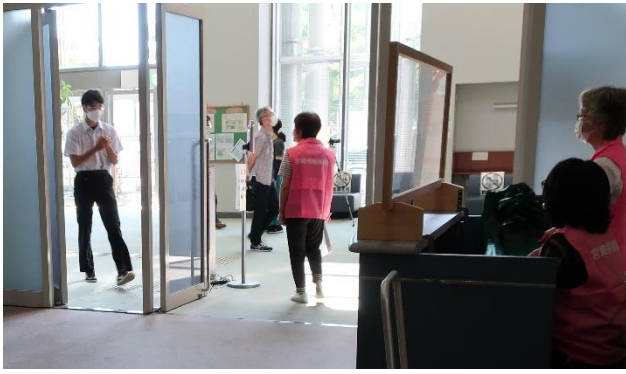
参加者の82%は「看護を目指す」生徒の参加であった。看護を目指す理由として“看護の仕事に魅力を感じた”という生徒が多かった。

開催内容は、看護教育に関する説明と学校別の説明会とした。学校別の説明会は、ブース訪問促進のためシールラリーを実施した。結果、1人あたり平均3,4校を訪問した。

プログラムについての4段階評価では、9割以上が「よく理解できた」「だいたい理解できた」と回答した。また、感想では「学校（志望校）の話を具体的に聞くことができてよかった。」と好評であった。

若年層を対象とした看護人材確保について、日本看護協会が推奨する看護師国家試験の合格者数『約5.5万人』をキープしていくためには、本県においても「看護の心普及事業」の継続・強化は必要であると考えます。「看護に会う体験」「仕事を知る機会の提供」「進路選択につながる情報提供」が、魅力ある職業としての看護職のイメージ醸成となるよう働きかけ、進路選択における看護職への志望者の増加を目指してまいります。

【当日の様子】



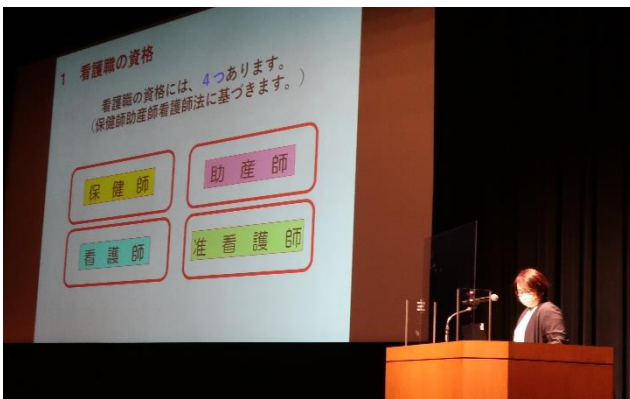
参加者は入り口で検温をして、受付をしてもらいました



会長からのビデオメッセージ



アルブライトホール(開会式会場)内の様子



「看護教育について」の説明
県福祉保健部 医療政策課 主幹 鴫 香織 氏



次は、4階の学校別説明会の会場に移動します



学校別説明会の様子①



学校別説明会の様子②



学校別説明会の様子④

→ブース訪問後は、アンケートにご協力いただきました。



学校別説明会の様子③

→座った席の消毒に協力してもらいました。



参加者は、ブースを3校訪問し、記念品をもらいます。記念品のマスキングテープ、好評でした。